

**がんばろう  
末崎!**  
津波なんかに  
負けない!

# 館報まっさき

第272号  
平成29年7月20日  
大船渡市立  
末崎地区公民館  
電話 (F兼) 29-2955

## 末崎の風土散策 (61)

以上、番匠古沢兄弟のことを書きましたが、終わりに末崎村出身のこぼれ話を拾ってみました。  
新沼芳松 平林の新沼豊治さんの曾祖父で大工の芳松氏は宮大工と  
もいわれ彫刻にも優れ、18歳の若さで仏壇を彫刻し自宅に残されて



いる。仕事では米崎町普門寺本堂正面欄間の男竜の彫物、宮城県涌谷神社の白木の神輿、長安寺向拝の龍の吽の龍、寛獄の観音像、ますぶちの観音、狼犬河原の馬頭観音等がある。また、浄土真宗の勉強もしていたようで、常に親鸞上人、蓮如上人や

祈祷の本などを読んでいたという。こぼれ話としては、末崎の大工棟梁で、刀を差して馬に乗っていた人ともいわれ、今でも家の庭先に馬に乗るときの踏み台にした石があるという。

村上藤男 生家は神坂の屋号「大関」村上家で男の兄弟が多く、大工一家で会った。兄弟は共に技術を研修し、腕を磨き合って、気仙大工として広く各地で働き、出稼ぎも岩手県や宮城県等中心に廻り、実績を残している。だが、5男藤男さんだけは浪曲師に憧れ、船員として働きながら大会に向かっ



て声やがて浪曲の師匠について本格的に修行を重ね、努力した結果、かの歌手の戸羽一郎が船員として沖で頑張っていたこと、藤男さん逆にならば芸名を「松平歌門」と名乗る浪曲師となり、全国を巡業していたが、或るとき、東磐井郡花泉の油島にある寶祥寺で開演することになり行ってみると会場は来客で溢れるような大盛況であった。歌門はこれにこたえて大いに熱演し、観衆からは大喝采を受け満足のうちに終わり、ホッと一息ついて何気なく傍らの柱を眺めると「大工棟梁、気仙群末崎村上時夫」と書いてありハッと驚き、確かめ、これは紛れもなく私の兄時夫(4男)の名前だと分かり、柱を撫でながら大いに感激し、これも何かの縁と聴衆に披露したところ大拍手の絶賛を受け、興行予定を1日延ばして再演したところ、また大入り盛況で喜びをあらたに胸を熱くしたと伝えられている。なお兄弟は現在も健康で兄の時夫さんは仙台に、弟の藤男さんは群馬県の館林に暮らしているという。(聖)

大工数の町村別年代別表(山本忠平先生調べ)

	大正10年	大正15年	昭和5年	昭和10年	昭和22年
小友村	-	300	275	268	208
米崎村	107	137	-	163	102
末崎村	121	160	117	130	99
高田村	-	350	-	320	231
気仙町	-	289	270	-	240

参考資料 末崎村誌、小友村誌、匠たちへの誘い

## 末崎中の統合はどうなる?

末崎地区公民館は7月13日、ふるさとセンターで末崎中学校の統合にかかわる懇談会を開催した。参加者は末崎町振興会の各議員である地域公民館長、各種団体の代表者、市議会議員、末崎中学校校長、PTA会長・副会長、小学校関係は当日PTAの会議があった。副会長1名の参加であった。

市教育委員会は、少子化により年々生徒数の減少が進んでいる状況に鑑み、複式学級(2つ以上の学年を1つに編成した学級)を行って得ない学校、または行わざるを得ないことが予想される学校。さらに集団活動や部活動等の教育活動に支障をきたす学校を対象として、末崎中学校と対象の統合案を示している。統合案のメリットとしては、教員の定数は学級数によつて

決まることから、学級数が多くなるれば、教員数も多く配置されるので、専門の免許をもった教師による質の高い教育が受けられること。子供の個性の伸長から部活動の選択肢が多くなること。子供達が集団の中で、多様な考えに触れ、認め合い、協力し合い、切磋琢磨することを通じて思考力や表現力、判断力、問題解決能力が育まれることや社会性や規範意識も身につくなどが挙げられる。

懇談会においては、(1)子供たちに望ましい教育を受けさせるためには、どうあればよいか。(2)大船渡中学校と統合するにすれば、どのような形がのぞましいか。の2点について、話し合われた。

第2の大船渡中学校と統合するにすれば、どのようにならば望ましいか。については、「対等統合であるべきであり、魅力ある新たな学校を作るという考えでやるべきである」とした。

吸収統合では、生徒がかわいそう。生徒は小さくなり居場所がなくなる。そんな統合であってはならない。

どうしても小さい学校から大きい学校に行く子供たちは萎縮してしまう。そうならないよう配慮してほしい。という保護者の強い意見が多かった。さらに統合問題に関して、つぎの意見が出された。

① 将来を考えて、学区も見直し、市全体で2校位にするなどの施策が必要ではないか。

② 前沢町では、7つあった中学校を1校にした、部活動を1校に集めた、大きな成果を収めている。

③ 7月7日の小中学校のP

- ④ 小中学校のPTAだけでなく、保育園のPTAも含めた話し合いも必要である。
- ⑤ 大船渡中学校への通学路は道幅が狭く急坂であり、冬季は大変危険である。改善できるのか。
- ⑥ 末崎中学校の校舎を活用する考えはないのか、学ぶ環境は優れていると思うが。
- ⑦ 5月の大船渡中学校での説明会では、どのようなことが話し合われたのか。参加者も少なく、末崎とは温度差があるように思うが。
- ⑧ 統合の時期をいつにするか、早く決めてほしい。
- ⑨ 末崎中学校の特色ある教育は継承させたい。
- ⑩ 統合する場合は3〜5年、部活動などの交流をしてからの方がよい。
- ⑪ 学校は教育を行う施設であるだけでなく、コミュニケーションにおける重要な役割を担っている。なんとか末崎中学校を残してほしい。
- ⑫ 学校は都市計画の上からも考えるべきであるが、市は末崎町をどのようなまちにするのか示していない。それらも示されての統合なら納得する。
- ⑬ 綾里中と赤崎中、吉浜中と越喜来中との統合はどうなっているか。
- ⑭ 陸前高田市の気仙中と第一中の統合のあり方はどのようなものか。などである。今後は保育園、小学校、中学校の話し合いの状況を伺いながら末崎町振興会代議員を中心とした懇談会を開き、より細部にわたって検討することとした。

### 敬老会は全員イースで

末崎町の敬老会は毎年末崎中学校の体育館を借りて開催している。

★「草月流生け花」教室  
\* 8月はお休みと致します。  
\* 8月はお休みと致します。

★「パソコン教室」(第6回)  
日時 7月29日(土) 13時30分〜17時  
場所 ふるさとセンター1階会議室  
内容 文書作成、エクセル、グラフ作成  
講習料 無料

★春季グラウンドゴルフ大会(結果)  
末崎体育協会主催の春季グラウンドゴルフ大会が6月18日(日)午前9時より小細浦グラウンドゴルフ場において38名の参加で開催されました。  
結果は次の通りです。  
優勝 佐藤 安治 57打  
準優勝 志田 清 60打  
第3位 梅沢 孝一 60打

★「草月流生け花」教室  
\* 8月はお休みと致します。  
\* 8月はお休みと致します。